



# 平成29年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月8日

上場会社名 株式会社ファンコミュニケーションズ  
 コード番号 2461 URL <http://www.fancs.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳澤 安慶  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員社長室長 (氏名) 杉山 紳一郎

TEL 03-5766-3530

四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年12月期第2四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	19,858	5.8	3,095	5.6	3,107	4.2	2,331	19.3
28年12月期第2四半期	18,764	8.2	2,930	3.2	2,981	2.6	1,954	0.3

(注) 包括利益 29年12月期第2四半期 2,339百万円 (21.6%) 28年12月期第2四半期 1,924百万円 (1.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第2四半期	30.38	30.31
28年12月期第2四半期	25.38	25.30

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年12月期第2四半期	24,750	17,603	70.8	228.26
28年12月期	23,314	16,637	71.0	215.71

(参考) 自己資本 29年12月期第2四半期 17,523百万円 28年12月期 16,553百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期		0.00		18.00	18.00
29年12月期		0.00			
29年12月期(予想)				19.00	19.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,358	7.6	6,295	8.1	6,327	7.3	4,551	16.3	59.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年12月期2Q	77,714,308 株	28年12月期	77,679,908 株
期末自己株式数	29年12月期2Q	943,076 株	28年12月期	943,076 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年12月期2Q	76,743,682 株	28年12月期2Q	77,015,230 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想数値に関する事項は添付資料の3ページを参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各種政策の効果もあり、緩やかな回復基調が続いております。国際的にも海外景気の緩やかな回復等を背景に、持ち直しが続くことが期待されます。

このような経済状況のもとで、当社グループの主要事業であるインターネットマーケティングサービス分野では、国内におけるスマートフォンの普及の一巡や、運用型広告の市場拡大とともに、アドフraud(広告詐欺)が問題視されておりますが、インターネットおよびスマートフォンアプリを活用したマーケティングへの取り組みは堅調に拡大していくものと予測され、特に動画広告市場の成長が見込まれます。

当第2四半期連結累計期間において当社グループは、連結子会社を含む組織再編による効率化に取り組みました。売上高は、主力サービスである「A8.net(エーハチネット)」の事業規模が堅調に拡大し増加、営業利益、経常利益は、売上高の増収効果により増益となりました。さらに、親会社株主に帰属する四半期純利益は繰越欠損金のある連結子会社の吸収合併に伴い、税金費用が減少したこと等により増益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は19,858,313千円(前年同期比105.8%)となりました。また、営業利益は3,095,910千円(前年同期比105.6%)、経常利益は3,107,093千円(前年同期比104.2%)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,331,595千円(前年同期比119.3%)となりました。

当社グループは、当社グループの事業を、CPA型アドネットワーク事業およびCPC/ターゲティング型アドネットワーク事業の各セグメントに分けております。各セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間からセグメント区分の変更を行っており、前年同期比等については変更後の区分方法に組み替えたものによっております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等)」の「II 3. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

## ① CPA型アドネットワーク事業

当社グループは、主力サービスでありますアフィリエイト広告サービス「A8.net(エーハチネット)」、スマートフォンアプリ向けCPI広告サービス「adrops(アドクroppス)」および「seedApp(シードアップ)」等を提供しております。当第2四半期連結累計期間においては、広告主に向けて費用対効果を高めるコンサルティング活動や参加メディアの広告媒体収益の最大化に注力いたしました。「A8.net(エーハチネット)」の利用広告主数が順調に拡大し、特にインターネット接続および健康カテゴリ等において売上高が大きく伸長しました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は13,349,183千円(前年同期比110.1%)、全社費用控除前の営業利益は2,596,176千円(前年同期比115.2%)となりました。

## ② CPC/ターゲティング型アドネットワーク事業

当社グループは、主力サービスでありますスマートフォン向け運用型広告サービス「nend(ネンド)」、リターゲティング広告配信サービス「nex8(ネックスエイト)」および海外メディア向けSSP「medi8(メディエイト)」等を提供しております。当第2四半期連結累計期間においては、nend(ネンド)の利用広告主数の減少、クリック単価の減少等により売上高が減少しました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は6,509,130千円(前年同期比98.0%)、全社費用控除前の営業利益は1,021,797千円(前年同期比89.3%)となりました。

## ○ 報告セグメント別の売上高の内訳

セグメントの名称	平成28年12月期第2四半期		平成29年12月期第2四半期		平成28年12月期	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
CPA型アドネットワーク事業	12,123,543	64.6	13,349,183	67.2	24,552,525	65.4
CPC/ターゲティング型アドネットワーク事業	6,640,716	35.4	6,509,130	32.8	12,963,414	34.6
総売上高	18,764,259	100.0	19,858,313	100.0	37,515,940	100.0

なお、主力サービスであるアフィリエイト広告サービスにおける当第2四半期連結会計期間末の利用広告主数(稼働広告主ID数)、参加メディア数(登録パートナーサイト数等)は、下記のとおりであります。

サービス	区分	平成29年12月期 第2四半期末	平成28年12月期末
「A8.net(エーハチネット)」	稼働広告主ID数	3,370	3,249
	登録パートナーサイト数	2,262,275	2,154,462
「nend(ネンド)」	稼働広告主ID数	367	394
	登録パートナーサイト数	769,649	694,137

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 総資産、負債及び純資産の状況

#### (総資産)

当社グループの当第2四半期連結会計期間末における総資産は24,750,623千円となり、前連結会計年度末に比べ1,436,588千円増加いたしました。主な増加要因は、現金及び預金が15,505,102千円(前連結会計年度末は14,544,263千円)と960,838千円増加、投資有価証券が2,319,317千円(前連結会計年度末は1,714,984千円)と604,333千円増加、売掛金が4,792,102千円(前連結会計年度末は4,544,032千円)と248,070千円増加したことによるものであります。

#### (負債)

当社グループの当第2四半期連結会計期間末における負債は7,147,090千円となり、前連結会計年度末に比べ470,940千円増加いたしました。主な増加要因は、買掛金が5,084,563千円(前連結会計年度末は4,738,384千円)と346,179千円増加したことによるものであります。

#### (純資産)

当社グループの当第2四半期連結会計期間末における純資産は17,603,533千円となり、前連結会計年度末に比べ965,648千円増加いたしました。主な増加要因は、配当金の支払いにより1,381,262千円減少した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益を2,331,595千円計上したことによるものであります。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末から現金及び現金同等物に係る換算差額も加え960,838千円増加し15,505,102千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、2,596,185千円の収入(前年同四半期は2,211,267千円の収入)となりました。これは、主に法人税等の支払額が806,848千円であった一方、税金等調整前四半期純利益を3,109,975千円計上したことによるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、419,611千円の支出(前年同四半期は179,733千円の支出)となりました。これは、主に投資有価証券の償還による収入が707,277千円であった一方、投資有価証券の取得による支出が956,528千円であったことによるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、1,214,476千円の支出(前年同四半期は1,831,917千円の支出)となりました。これは、主に株式の発行による収入が9,012千円であった一方、配当金の支払額が1,223,489千円であったことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年8月1日に公表しました業績予想から修正は行っておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,544,263	15,505,102
売掛金	4,544,032	4,792,102
有価証券	1,245,375	996,956
その他	576,172	354,989
貸倒引当金	△13,761	△13,052
流動資産合計	20,896,081	21,636,098
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	111,086	121,994
減価償却累計額	△52,129	△56,459
建物及び構築物(純額)	58,956	65,535
工具、器具及び備品	449,788	554,075
減価償却累計額	△302,989	△343,111
工具、器具及び備品(純額)	146,798	210,964
有形固定資産合計	205,755	276,499
無形固定資産		
のれん	26,855	22,116
その他	241,316	274,081
無形固定資産合計	268,171	296,198
投資その他の資産		
投資有価証券	1,714,984	2,319,317
その他	244,493	224,475
貸倒引当金	△15,450	△1,964
投資その他の資産合計	1,944,026	2,541,828
固定資産合計	2,417,953	3,114,525
資産合計	23,314,035	24,750,623

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	4,738,384	5,084,563
未払法人税等	841,825	815,592
賞与引当金	134,344	153,784
ポイント引当金	104,644	104,962
その他	694,254	834,771
流動負債合計	6,513,452	6,993,675
固定負債		
長期預り保証金	157,115	153,415
その他	5,582	—
固定負債合計	162,697	153,415
負債合計	6,676,150	7,147,090
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,135,913	1,142,161
資本剰余金	240,613	246,861
利益剰余金	15,865,718	16,816,051
自己株式	△688,632	△688,632
株主資本合計	16,553,613	17,516,442
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△540	7,525
その他の包括利益累計額合計	△540	7,525
新株予約権	84,812	79,565
純資産合計	16,637,885	17,603,533
負債純資産合計	23,314,035	24,750,623

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
売上高	18,764,259	19,858,313
売上原価	13,743,886	14,613,297
売上総利益	5,020,372	5,245,016
販売費及び一般管理費	2,089,469	2,149,106
営業利益	2,930,903	3,095,910
営業外収益		
受取利息	13,469	6,161
受取配当金	254	522
デリバティブ評価益	43,123	—
投資事業組合運用益	8,391	7,711
その他	1,597	7,873
営業外収益合計	66,837	22,269
営業外費用		
デリバティブ評価損	—	10,288
為替差損	13,511	—
その他	2,777	798
営業外費用合計	16,289	11,086
経常利益	2,981,452	3,107,093
特別利益		
新株予約権戻入益	6,032	2,882
特別利益合計	6,032	2,882
税金等調整前四半期純利益	2,987,484	3,109,975
法人税、住民税及び事業税	970,269	776,730
法人税等調整額	62,912	1,649
法人税等合計	1,033,182	778,380
四半期純利益	1,954,302	2,331,595
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,954,302	2,331,595



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	1,954,302	2,331,595
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△29,369	8,065
その他の包括利益合計	△29,369	8,065
四半期包括利益	1,924,933	2,339,661
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,924,933	2,339,661
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,987,484	3,109,975
減価償却費	76,589	76,751
株式報酬費用	—	895
のれん償却額	4,739	4,739
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,321	△14,196
賞与引当金の増減額(△は減少)	9,881	19,440
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△4,687	318
受取利息及び受取配当金	△13,724	△6,683
新株予約権戻入益	△6,032	△2,882
デリバティブ評価損益(△は益)	△43,123	10,288
売上債権の増減額(△は増加)	△90,429	△234,653
仕入債務の増減額(△は減少)	503,985	346,179
預り保証金の増減額(△は減少)	△4,363	△3,700
為替差損益(△は益)	13,897	1,258
その他	△73,699	70,560
小計	3,362,839	3,378,289
利息及び配当金の受取額	17,047	24,744
法人税等の支払額	△1,168,620	△806,848
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,211,267	2,596,185
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	100,000	—
有形固定資産の取得による支出	△18,128	△95,789
無形固定資産の取得による支出	△49,139	△74,571
投資有価証券の取得による支出	△1,045,890	△956,528
投資有価証券の償還による収入	836,413	707,277
その他	△2,987	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△179,733	△419,611
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
株式の発行による収入	11,508	9,012
自己株式の取得による支出	△689,925	—
配当金の支払額	△1,153,500	△1,223,489
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,831,917	△1,214,476
現金及び現金同等物に係る換算差額	△13,897	△1,258
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	185,718	960,838
現金及び現金同等物の期首残高	12,407,446	14,544,263
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,593,165	15,505,102

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	CPA型アドネッ トワーク事業	CPC/ターゲ ティング型 アドネッ トワーク事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,123,543	6,640,716	18,764,259	—	18,764,259
セグメント間の内部売上 高又は振替高	30,940	5,453	36,393	△36,393	—
計	12,154,483	6,646,169	18,800,653	△36,393	18,764,259
セグメント利益	2,253,519	1,144,261	3,397,780	△466,877	2,930,903

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	CPA型アドネッ トワーク事業	CPC/ターゲ ティング型 アドネッ トワーク事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,349,183	6,509,130	19,858,313	—	19,858,313
セグメント間の内部売上 高又は振替高	25,744	79	25,824	△25,824	—
計	13,374,928	6,509,209	19,884,137	△25,824	19,858,313
セグメント利益	2,596,176	1,021,797	3,617,973	△522,063	3,095,910

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間において、当社連結子会社であった株式会社エイトクロップスを平成29年1月1日を合併期日とする吸収合併を行っております。同じく当社連結子会社であった株式会社ファンメディアについても平成29年5月1日を合併期日とする吸収合併を行っております。これに伴い、当社グループ内の経営管理区分を見直した結果、第1四半期連結会計期間より、従来「その他」に含めておりました他社媒体広告販売および株式会社ファンメディアが展開していた自社媒体事業については、その担当部署等に応じて「CPA型アドネットワーク事業」又は「CPC/ターゲティング型アドネットワーク事業」に含めております。また、従来「調整額」に含めておりました各事業の開発部門の損益を各報告セグメントへ合理的な配賦基準に基づき配賦する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の測定方法に基づき作成しております。

(重要な後発事象)

(取得による企業結合)

当社は、平成29年6月23日開催の取締役会において、シーサー株式会社の全株式を取得し、子会社化することについて決議し、同日付で株式譲渡契約を締結し、平成29年7月3日付で全株式を取得しました。

(1) 企業結合の概要

①被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 シーサー株式会社

事業の内容 メディア事業、ソリューション事業

②企業結合を行った主な理由

シーサー株式会社は幅広いウェブサービスを提供しており、同社を子会社化することにより、当社のアフィリエイト広告サービスとシナジー効果が発揮され、更なる事業規模拡大及び企業価値向上が期待できると考え、株式を取得することといたしました。

③企業結合日

平成29年7月3日

④企業結合の法的形式

株式取得

⑤結合後企業の名称

シーサー株式会社

⑥取得した議決権比率

100%

⑦取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものです。

(2) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	1,500,001千円
取得原価		1,500,001千円

(3) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

(4) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。